

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小山駅周辺地区

平成23年3月

栃木県小山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
指標1	来街者数	人/日	43,200	44,300	39,732	確定 見込み	●	△	あり なし	●	32,903	H23年2月	△	評価値の見込推計が甘かった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	鉄道利用者は減少しているが、駅東西交流人口、観光客数は増加しており、今後の改善が期待できる。
指標2	東西交流人口	人/日	4,600	4,800	6,494	確定 見込み	●	○	あり なし	●	6,494	H21年6月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅東西の各種イベント等における活発な交流成果が評価できる。
指標3	文化センター利用者数	人/年	142,000	155,000	193,392	確定 見込み	●	○	あり なし	●	171,400	H22年6月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設整備により催事回数が増え、利用者の増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
その他の数値指標1	市内循環バスによる年間利用者数	人/年	127,043	/	213,964	確定 見込み	●	/	/	/	211,642	H22年6月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	運行数・ルートの維持や、駅周辺の魅力向上により、多くの市民に利用されている。
その他の数値指標2	文化センター平均利用者数の推移	人/回	232	/	251	確定 見込み	●	/	/	/	266	H22年6月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	利用環境整備や、イベント回数増加により、多くの市民に利用されている。
その他の数値指標3	小山駅1日平均乗車人員の増減率	%	99.2	/	100.2	確定 見込み	●	/	/	/	97.7	H22年6月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	H21の利用者数が前年より多少減少しているが、ほぼ横ばい状況を維持している。
その他の数値指標4	駅周辺居住人口の推移	人	6,920	/	7,356	確定 見込み	●	/	/	/	7,210	H21年10月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺活性化、公共交通、観光振興、住みたいまちづくりにより、居住者が増加した。
その他の数値指標5	宿泊観光客数の推移	人/年	111,036	/	286,349	確定 見込み	●	/	/	/	264,070	H22年6月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地観光や思川整備等、滞在型周遊環境の支援により、宿泊観光客が増加した。
その他の数値指標6	文化センター・中央公民館利用者数の推移	人/年	208,828	/	268,404	確定 見込み	●	/	/	/	241,934	H22年6月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	文化センターの施設整備と、両施設の催事回数の増加により、利用者数が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	小山駅へのアクセス環境のさらなる向上	・小山駅周辺の交通利便性を高めるため、循環バス運行の支援。	・循環バス運行により小山駅を中心とする循環バスの利用者数が増加している。	より利用しやすい運行計画の改善や、PRによりさらなる利用促進を図り、中心市街地への来街者数の増加を目指す。
	中心市街地へのさらなる交流人口の誘導	・文化センターの催事の充実、活動状況や利用促進などをPRするとともに、市街地内の観光資源を活かし、イベント等により中心市街地への交流人口の誘導を図った。	・ホームページや催事のPRにより、文化センターの利用者数は増加し、地域と一体となった西口まつりには、多くの市民が来場した。	文化センター利用者を中心市街地に呼び込むために、観光資源をいかした街なかの魅力づくりを目指す。
	北関東の玄関口にふさわしい高質なまちづくりの推進	・駅前広場等の施設等の適正な維持管理や、市の玄関口である祇園城通りの緑化推進として、桜の里親にて思川桜の植樹を行った。	・里親による思川桜が植樹された事により、美しくすみよいまちづくりを目指し緑化推進が図られた。	市と市民が一体となった維持管理の実施と、駅周辺の施設等における景観形成意識の啓発。
改善策	小山駅の利便性向上と駅東西市街地を一体化し、高質な都市空間を形成するための都市基盤整備の促進	・小山駅中央自由通路の早期工事着手や駅構内バリアフリー整備事業の早期完成を図る。	・駅構内のバリアフリー工事を平成22年9月より着手、平成22年10月より小山駅中央自由通路整備工事に着手した。	引き続き接続デッキの整備により駅へのアクセスや連絡性の向上を目指す。
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	鉄道利用者の増加	・駅へのアクセスや連絡性の改善など、誰もが利用しやすい小山駅周辺の交通利便性の向上として、都市再生整備計画の作成。	・まちづくり交付金事業小山駅周辺地区(第2期)を平成23年度より実施。	駅周辺の面整備や小山駅周辺の交通利便性の向上のため、まちづくり交付金の円滑な実施を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項